

平成 26 年度

事業報告書

平成 27 年

I. 庶務事項

1. 理事会及び評議員会の開催

・平成 26 年 6 月 3 日(火)午前 11 時より第 90 回理事会を五島美術館本館にて開催、下記の議案を審議可決した。

(イ)平成 25 年度事業報告並びに収支決算等について

(ロ)諮問委員の選任について

(ハ)定時評議員会の招集について

・平成 26 年 6 月 17 日(火)午後 4 時より第 87 回評議員会をセルリアンタワー東急ホテルにて開催、下記の議案を審議可決した。

(イ)平成 26 年度事業報告並びに収支決算等について

(ロ)理事の選任について

(ハ)評議員の辞任に伴う補充の選任等について

・平成 26 年 6 月 17 日(火)午後 4 時より第 91 回臨時理事会をセルリアンタワー東急ホテルにて開催、下記の議案を審議可決した。

(イ)代表理事及び業務執行理事の選定について

(ロ)事務局長、美術館長及び文庫長の選任について

(ハ)役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程第 3 条に基づく、常勤役員の報酬に関する事項について

・平成 27 年 3 月 20 日(金)午後 4 時 30 分より第 92 回理事会を五島美術館本館にて開催、下記の議案を審議可決した。

(イ)平成 27 年度事業計画並びに収支予算等について

(ロ)平成 27 年度事業計画並びに収支予算等の評議員会開催及び招集について

・平成 27 年度事業計画並びに収支予算案等について、平成 27 年 3 月 20 日に配布し、評議員全員の同意を得たので、最終確認が得られた同年 3 月 21 日付にて、第 88 回評議員会として同案を可決した。

2. 官公庁への届出等

- ・平成 26 年 6 月 26 日 平成 25 年度事業報告書並びに収支計算書等の提出……………内閣府
- ・平成 27 年 3 月 27 日 平成 27 年度事業計画書並びに収支予算書等の提出……………内閣府

3. 寄付受領

- ・東京急行電鉄株式会社……………80,000,000 円
 - ・東急テクノシステム株式会社……………15,000,000 円
 - ・東急バス株式会社……………15,000,000 円
 - ・イツ・コム株式会社……………20,000,000 円
- 合計 130,000,000 円

美術品受贈

平成 27 年 3 月 26 日受贈

- ・佐藤桂苑森田竹華筆「古歌二首」(屏風)昭和 45 年作 計 1 件(寄贈日 平成 27 年 3 月 26 日)
- ・墨林会……………里村紹巴筆短冊 計 1 件(寄贈日 平成 27 年 3 月 28 日)

Ⅱ. 主なる事業活動

[1] 五島美術館事業

1. 展示事業

回	開館日数	展覧会名期	間
1	[館蔵]春の優品展—歌・物語の世界—	平成26年4月5日[土]—5月11日[日]	32日
2	[館蔵]近代の日本画展	5月17日[土]—6月22日[日]	32日
3	[館蔵]祈りの造形展	6月28日[土]—8月3日[日]	32日
4	[館蔵]秋の優品展—絵画・書跡と陶芸—	8月30日[土]—10月19日[日]	44日
5	[特別展]存星—漆芸の彩り—	10月25日[土]—12月7日[日]	38日
6	[館蔵]茶道具取合せ展	12月13日[土]—平成27年2月15日[日]	45日
7	[館蔵]中国の陶芸展	平成27年2月21日[土]—3月29日[日]	32日
			合計 255日

2. 特別展

(1) 存星—漆芸の彩り—

- ・期間＝平成26年10月25日[土]—12月7日[日]
- ・主催＝五島美術館
- ・特別鑑賞会・レセプション＝平成26年10月24日[金]……………出席者132名
- ・講演会＝「南宋時代の彫彩漆—謎と魅力—」小池富雄氏(鶴見大学教授)
平成26年10月25日[土]……………聴講者80名
- ・講演会＝「茶の湯の存星」池田巖氏(漆芸作家)
平成26年11月8日[土]……………聴講者128名
- ・講演会＝「漆を彫る—技法の歴史とその実演」松本達弥氏(漆芸作家・漆芸文化財修復家)
平成26年11月29日[土]……………聴講者189名

3. 出版物

(1) 『存星—漆芸の彩り—』

- ・判型＝A4判 ・発行日＝平成26年10月24日 ・編集＝五島美術館学芸部
- ・発行＝公益財団法人五島美術館 ・頁数＝138頁(カラー96頁、図版76点所収)

(2) 『五島美術館研究紀要』第3号

- ・判型＝A4判 ・発行日＝平成27年3月31日 ・編集＝五島美術館・大東急記念文庫学芸部
- ・発行＝公益財団法人五島美術館

4. 美術品の他所への出品

- MIHO MUSEUM……………重要美術品「伯庵茶碗 銘 朽木」／計1件
「江戸の異国万華鏡—更紗・びいどろ・阿蘭陀」(期間＝平成26年3月15日～6月8日)
- 西都原考古博物館……………国宝「金銅馬具類」／計1件
「西都原の100年 考古博の10年 そして、次の時代へ(Ⅰ)～西都原の逸品たち～」
(期間＝平成26年4月19日～6月15日)
- 九州国立博物館……………「石室祖瑛墨蹟 餞別偈」／計1件
「トピック展 中国を旅した禅僧の足跡」(期間＝平成26年5月27日～7月6日)
- 山口蓬春記念館、公益財団法人 JR 東海生涯学習財団……………「木瓜 山口蓬春筆」／他計2件
「山口蓬春生誕120周年記念展Ⅱ 山口蓬春と吉田五十八」
(期間＝平成26年8月22日～10月19日)
- MIHO MUSEUM、京都新聞……………重要美術品「[貼銀鍍金]双鳳狻猊天馬紋菱花鏡」／計1件
「秋季特別展 獅子と狛犬—神獣が来たはるかな道—」
(期間＝平成26年9月2日～12月14日)
- 大織部展実行委員会(岐阜県現代陶芸美術館・公益社団法人美濃陶芸協会・中日新聞社) ……
……………重要文化財「古伊賀水指 銘 破袋」／他計4件
「古田織部400年忌 大織部展」(期間＝平成26年9月6日～10月26日)
- 樂美術館……………「乾山色絵菊文向付」／計1件
「樂家五代宗入生誕350年記念秋期特別展Ⅰ
元禄を駆け抜けた雁金屋の従兄弟ども「樂家五代宗入と尾形乾山」」
(期間＝平成26年9月12日～12月7日)
- 根津美術館……………重要文化財「地獄草紙断簡 火象地獄図」／他計5件
「名画を切り、名器を継ぐ—美術にみる愛蔵のかたち—」
(期間＝平成26年9月20日～11月3日)
- 一般財団法人筆の里振興事業団……………
……………重要美術品「得無垢女經(光明皇后発願一切經・五月一日經)」／他計6件
「開館20周年記念特別展 日本の書と筆の宇宙」(期間＝平成26年9月20日～11月3日)
- 徳川美術館・名古屋市蓬左文庫・中日新聞社……………「涅槃像 冷泉為恭筆」／他計2件
「復古やまと絵 新たなる王朝美の世界—訥言・一蕙・為恭・清—」
(期間＝平成26年10月4日～11月9日)
- 三井記念美術館……………「鴨図 伝 徽宗皇帝筆」／他計4件
「東山御物の美—足利将軍家の至宝—」(期間＝平成26年10月4日～11月24日)
- 平塚市美術館……………「春 霊峰四題の内 横山大観筆」／他計4件
「横山大観の富士」(期間＝平成26年10月11日～11月24日)
- 高崎市教育委員会……………「連弧紋獸面鏡」／他計5件
「鏡よかがみ～人々の心を支えた鏡たち」(期間＝平成26年10月11日～12月7日)

- 東京国立博物館、読売新聞社、NHK、NHK プロモーション……………
 国宝「古林清茂墨跡 餞別偈」／計 1 件
 「日本国宝展」(期間＝平成 26 年 10 月 15 日～12 月 7 日)
- 大阪市立美術館、毎日新聞社……………「光琳蒔絵佐野渡図硯箱」／計 1 件
 「特別展 うた・ものがたりのデザイン」(期間＝平成 26 年 10 月 28 日～12 月 7 日)
- ・大徳寺孤篷庵……………祥瑞蜜柑形水指ほか／茶道具一式
 江雲会茶会(期間＝平成 26 年 11 月 10 日)
- MOA 美術館……………「伊勢物語色紙 富士山図 伝 俵屋宗達筆」／他計 2 件
 「光琳 300 年忌記念特別展 「燕子花と紅白梅」 光琳アートー光琳と現代美術ー」
 (期間＝平成 27 年 2 月 4 日～3 月 3 日)

5. 入館者数

* 単位は人

	有料	無料	計	入園者	合計	開館日	一日平均
1 [館蔵]春の優品展—歌・物語の世界—〈平成 26 年 4 月 5 日[土]—5 月 11 日[日]〉	7,788	510	8,298	404	8,702	32	272
2 [館蔵]近代の日本画展〈5 月 17 日[土]—6 月 22 日[日]〉	9,213	806	10,019	325	10,344	32	323
3 [館蔵]祈りの造形展〈6 月 28 日[土]—8 月 3 日[日]〉	3,144	431	3,575	134	3,709	32	116
4 [館蔵]秋の優品展—絵画・書跡と陶芸—〈8 月 30 日[土]—10 月 19 日[日]〉	8,292	557	8,849	366	9,215	44	209
5 [特別展]存星—漆芸の彩り—〈10 月 25 日[土]—12 月 7 日[日]〉	10,670	1,630	12,300	717	13,017	38	343
6 [館蔵]茶道具取合せ展〈12 月 13 日[土]—平成 27 年 2 月 15 日[日]〉	9,703	739	10,442	131	10,573	45	235
7 [館蔵]中国の陶芸展〈平成 27 年 2 月 21 日[土]—3 月 29 日[日]〉	4,862	353	5,215	194	5,409	32	169
合計	53,672	5,026	58,698	2,271	60,969	255	239

6. 調査・研究

- ・特別展および企画展に際して、館外所蔵作品の調査を行った。
- ・改修後の展示設備をはじめとする館内設備の調査とデータ蓄積を継続した。
- ・所蔵する図書を整理し、情報の入力を継続した。また宇野雪村旧蔵書籍など貴重書のメンテナンスを行った。
- ・以上の成果の一部については、最新の研究紀要にて報告した。

7. 講堂・茶室などの施設利用

(1) 本館集会室

ギャラリートーク(平成 27 年 2 月 5 日)、当館主催「美の友会月例美術講座」(平成 26 年 2 月 8 日他)、当館主催「こども美術講座」(平成 26 年 5 月 5 日他)、当館主催「陶芸講座」参加者作品展観(平成 26 年 5 月 31 日・6 月 1 日、9 月 20 日・21 日、平成 27 年 1 月 24 日・25 日)、各種団体などへの解説、美術品写真撮影、博物館学講習会、館内諸会議などに使用(利用詳細は別項「9. 普及事業(1)(2)(4)(6)」「10. 博物館実習生の受け入れ」)。

(2) 別館講堂

当館主催「講演会」(平成 26 年 7 月 6 日他)、ギャラリートーク(平成 26 年 4 月 9 日他)、当館主催「美の友会月例美術講座」(毎月 1～3 回)、当館主催「茶の友会茶会」の道具説明会(平成 26 年 11 月 13 日～16 日、平成 27 年 3 月 12 日～15 日)、当館主催ミュージアム・コンサート(平成 26 年 7 月 9 日、9 月 25 日)、東急電鉄株式会社主催「キッズプログラム」(平成 27 年 1 月 12 日)、茶の湯文化学会例会(平成 26 年 5 月 24 日)などに使用(利用詳細は別項「9. 普及事業(1)(2)(3)(5)(7)(8)」)。

(3) 第二講堂

当館主催「陶芸講座」(平成 26 年 5 月 31 日・6 月 1 日、9 月 20 日・21 日、平成 27 年 1 月 24 日・25 日)、当館主催「茶の友会茶会」の点心席(平成 26 年 11 月 13 日～16 日、平成 27 年 3 月 12 日～15 日)、その他一般の茶会の点心席などに使用(利用詳細は別項「9. 普及事業(5)(6)」)。

(4) 茶室

当館主催「茶の友会茶会」(平成 26 年 11 月 13 日～16 日、平成 27 年 3 月 12 日～15 日)、東急電鉄株式会社主催「キッズプログラム」(平成 27 年 1 月 12 日)、その他一般の茶会などに使用(利用詳細は別項「9. 普及事業(2)(5)」)。

8. 友の会(特別会員制度)

美術教育普及のため、開館以来友の会制度を設け、今日に至っている。本年度の利用状況は次のとおり(平成 27 年 3 月 31 日現在)。

(1) 美の友会(定員制度無し・入会した日より 1 年間有効)

- ・会員数=560 名
- ・年会費=4,000 円
- ・展覧会(特別展を含む)を何度でも鑑賞可能。
- ・特別展の講演会を無料で聴講可能。
- ・「美の友会月例美術講座」の開催(聴講無料)。
- ・陶芸講座の開催(年 3 回の予定)。
- ・展覧会や催物の案内を発送。

(2) 茶の友会(定員制度・毎年度 4 月 1 日から 3 月 31 日まで有効)

- ・会員数=1,500 名
- ・会費=5,000 円
- ・展覧会(特別展を含む)を何度でも鑑賞可能。

- ・特別展の講演会を無料で聴講可能。
- ・「茶の友会茶会」の開催(年2回・ただし、1回につき実費10,000円程度必要)。
- ・展覧会や催物の案内を発送。

9. 普及事業

(1) ギャラリートーク(展示解説)ー入館者を対象にして実施

- ・[館蔵]春の優品展ー歌・物語の世界ー
 - 「和歌の書」平成26年4月9日、4月17日(別館講堂)……………参加者計94名
 - 「源氏物語絵巻について」平成26年4月30日、5月2日・9日(別館講堂)……………計409名
- ・[館蔵]近代の日本画展
 - 「近代日本画の世界」平成26年5月22日、6月19日(別館講堂)……………計170名
- ・[館蔵]祈りの造形展
 - 「祈りの表具」平成26年7月17日(別館講堂)……………計45名
 - 「さまざまな祈りのかたち」平成26年7月24日(別館講堂)……………計34名
- ・[館蔵]秋の優品展ー絵画・書跡と陶芸ー
 - 「奈良絵本」平成26年9月4日(別館講堂)……………計43名
 - 「日本陶磁」平成26年9月19日(別館講堂)……………計36名
 - 「紫式部日記絵巻について」平成26年10月16日、19日(別館講堂)……………計291名
- ・[特別展]存星ー漆芸の彩りー
 - 「存星クロニクル」平成26年10月30日、11月20日(別館講堂)……………計124名
- ・[館蔵]茶道具取合せ展
 - 「名物裂について」平成26年12月18日(別館講堂)……………計85名
 - 「古経楼と茶の湯」平成27年1月8日(別館講堂)、2月5日(本館集会室)……………計80名
 - 「古渡り更紗について」平成27年1月29日(別館講堂)……………計110名
 - 「茶箱・茶籠」平成27年2月8日(別館講堂)……………計167名
- ・[館蔵]中国の陶芸展
 - 「中国陶磁について」平成27年2月26日、3月19日(別館講堂)……………計95名

(2) 青少年向け普及講座

①こども美術講座ー小中学生を対象にして美術や日本文化について解説および体験学習を実施

- 「王朝絵巻の世界」平成26年5月5日(本館集会室)……………計17名[こども9/大人8]
- 「日本画を知ろう」平成26年6月8日(本館集会室)……………計10名[こども6/大人4]
- 「お経の字」平成26年6月29日、8月3日(本館集会室)……………計16名[こども5/大人11]
- 「王朝絵巻の世界」平成26年10月13日(本館集会室)……………計8名[こども5/大人3]

②東急電鉄株式会社主催「キッズプログラム」

平成27年1月12日「美術館の茶室で抹茶を飲んでみよう！」(別館講堂・茶室)……………計18名

③小・中学校への出張講義

- ・世田谷区立給田小学校
- 平成27年2月25日「日本絵画を知ろう」……………6年生約140名

(3) 講演会ー入館者を対象にして実施

[館蔵]祈りの造形展

・演題＝「古写経探訪—文字と料紙から—」

講師＝赤尾栄慶氏(京都国立博物館上席研究員)

平成 26 年 7 月 6 日[日]……………聴講者 57 名

[特別展]存星—漆芸の彩り—

・演題＝「南宋時代の彫彩漆—謎と魅力—」小池富雄氏(鶴見大学教授)

平成 26 年 10 月 25 日[土]……………聴講者 80 名

・演題＝「茶の湯の存星」池田巖氏(漆芸作家)

平成 26 年 11 月 8 日[土]……………聴講者 128 名

・演題＝「漆を彫る—技法の歴史とその実演」松本達弥氏(漆芸作家・漆芸文化財修復家)

平成 26 年 11 月 29 日[土]……………聴講者 189 名

(4) 団体見学および団体説明会

[館蔵]春の優品展—歌・物語の世界—……………計 10 団体・計 289 名

[館蔵]近代の日本画展……………計 2 団体・計 53 名

[館蔵]祈りの造形展……………計 1 団体・計 28 名

[館蔵]秋の優品展—絵画・書跡と陶芸—……………計 5 団体・計 130 名

[特別展]存星—漆芸の彩り—……………計 4 団体・計 94 名

[館蔵]茶道具取合せ展……………計 1 団体・計 42 名

[館蔵]中国の陶芸展……………計 1 団体・計 23 名

総計＝24 団体・659 名

(5) 茶会—茶の友会会員を対象にして実施

・第 1 回秋季茶会＝平成 26 年 11 月 13 日、14 日、15 日、16 日(4 日間)……参加者計 810 名

・第 2 回春季茶会＝平成 27 年 3 月 12 日、13 日、14 日、15 日(4 日間)……参加者計 845 名

* 上記茶会に使用した美術品について学芸員が解説した。

(6) 陶芸教室—美の友・茶の友会会員を対象にして実施

* 指導＝弘法窯スタッフ

下記の通り、当館第二講堂において陶芸講座を開催した。当日、参加者は形造りから絵付けまでを行って終了(一日教室)。後日、学芸部が岐阜県可児市の弘法窯の陶房まで輸送して、焼成(完成品は集会室にて手渡し)。また、電動ろくろ器を使用して制作する「中級編」も同時開催。

・第 1 回＝平成 26 年 5 月 31 日・6 月 1 日「織部焼・越前風自然釉焼締陶器」参加者計 52 名

・第 2 回＝平成 26 年 9 月 20 日・21 日「志野焼・越前風自然釉焼締陶器」……………計 55 名

・第 3 回＝平成 27 年 1 月 24 日・25 日「織部焼・越前風自然釉焼締陶器」……………計 55 名

(7) 美の友会月例美術講座—美の友会会員を対象にして実施

美の友会会員を対象に下記の講座(各月 1～3 回)を開催した。各回とも一貫したテーマに即した主題を掲げ、五島美術館・大東急記念文庫の所蔵品を中心にパワーポイントを使用してわかりやすい講座を行なった。

・書跡鑑賞シリーズIX「11 世紀の古筆」

担当＝五島美術館学芸部 名児耶 明

第 1 回 平成 26 年 4 月 5 日(土) 「歌仙歌合」……………聴講者 114 名

第 2 回 5 月 3 日(祝) 「深窓秘抄」……………107 名

第 3 回 6 月 7 日(土) 「高野切第二種」……………77 名

第 4 回 7 月 5 日(土) 「名家家集切」……………91 名

第 5 回 9 月 6 日(土) 「寛平御時后宮歌合」……………89 名

第 6 回 10 月 4 日(土) 「粘葉本和漢朗詠集」……………100 名

第7回	12月6日(土)	「如意宝集切」……………81名
第8回	平成27年 1月10日(土)	「曼殊院本古今集」……………95名
第9回	2月7日(土)	「関戸本古今集切」……………113名
第10回	3月7日(土)	「亀山切」……………86名

・染織鑑賞シリーズX「日本染織探訪」 担当＝五島美術館学芸部 佐藤留実

第1回	平成26年 4月12日(土)	「畿内一大和国・正倉院の染織」……聴講者 63名
第2回	5月10日(土)	「畿内一京都・源氏物語絵巻と宮廷装束」……67名
第3回	6月14日(土)	「東海道一常陸国・結城紬」……………53名
第4回	7月12日(土)	「畿内一京都・辻が花」……………62名
第5回	9月13日(土)	「東山道一出羽国・最上紅花」……………56名
第6回	10月11日(土)	「西海道一肥前国・鍋島更紗」……………50名
第7回	12月13日(土)	「南海道一阿波国・藍」……………35名
第8回	平成27年 1月17日(土)	「東海道一尾張国・有松絞り」……………47名
第9回	2月14日(土)	「畿内一京都・友禅染め」……………54名
第10回	3月21日(祝)	「琉球一紅型」……………52名

・陶磁鑑賞シリーズIV「高麗茶碗」 担当＝五島美術館学芸部 砂澤祐子

第1回	平成26年 9月27日(土)	「雲鶴・狂言袴」……………聴講者 104名
第2回	10月18日(土)	「三島・刷毛目」……………70名
第3回	12月20日(土)	「堅手」……………63名
第4回	平成27年 1月31日(土)	「井戸」……………116名
第5回	2月21日(土)	「蕎麦・斗々屋」……………115名
第6回	3月28日(土)	「柿の蓆」……………111名

・漆芸鑑賞シリーズIV「存星クロニクル」 担当＝五島美術館学芸部 福島 修

第4回	平成26年 4月19日(土)	「彫彩漆と沈金」……………聴講者 52名
第5回	5月17日(土)	「地文の賞玩」……………49名
第6回	6月21日(土)	「填漆と漆絵」……………38名
第7回	7月19日(土)	「存星クロニクル」……………36名

(8) ミュージアム・コンサートー入館者を対象にして実施

・NHK 交響楽団メンバーによる弦楽四重奏演奏会＝平成26年7月9日(水)

1st Violin＝白井篤／2nd Violin＝山口裕之／Viola＝小野聡／V.Cello＝山内俊輔（敬称略）

プログラム：ベートーヴェン 弦楽四重奏曲第16番へ長調 Op.135

メンデルスゾーン 弦楽四重奏曲第6番へ短調 Op.80

ブラームス 弦楽四重奏曲第3番変ロ長調 Op.67

入場料＝3500円(友の会 3000円) 予約制……………参加者 161名

・長唄演奏会一和のこころを聴く＝平成26年9月25日(木)

三味線＝杵屋五三魅、杵屋五三助、東音 村尾楨三、杵屋五助／唄＝杵屋六響、吉住小与ひで、芳村伊四妙、和歌山富康／囃子＝住田福十郎、望月左太寿郎、望月秀幸／笛＝福原寛（敬称略）

プログラム：橋弁慶 松の翁 靱猿

入場料＝3500円(友の会 3000円) 予約制……………参加者 162名

(9) 美術品の写真掲載・利用

美術の教育普及の観点から、各種の美術図書やビデオ・テレビ番組などに、その内容に検討を加えた上で、当館所蔵の美術品の撮影および写真掲載使用を許可した(平成26年度は177件・のべ282点)。

(10) 特別閲覧

- ・奎星会静岡 (25名:平成26年5月10日)……………宇野雪村コレクション 計10件
- ・島根大学 (1名:平成26年5月27日～30日)……対置式神獸鏡 黄武元年銘他 計33件
- ・高崎市観音塚考古資料館 (1名:平成26年7月17日)……………変形五獣鏡他 計5件
- ・宮内庁書陵部 (1名:平成26年7月26日)……………変形四獣内行花文鏡他 計9件
- ・奈良文化財研究所 (1名:平成26年7月31日)……………国宝 金銅馬具類 計1件
- ・宮内庁書陵部 (1名:平成26年8月31日)……………変形半円方形帯三神三獣鏡他 計10件
- ・小田商店 (1名:平成26年9月12日)……………光悦黒楽茶碗 銘 七里 計1件
- ・Prapassorn Posrithong (1名:平成27年2月8日)……熊川茶碗 銘 千歳(包裂)他 計5件
- ・京都国立博物館 (1名:平成27年2月13日)……………乾山色絵菊形向付 計1件
- ・奈良文化財研究所 (1名:平成27年2月26日)……………柿の蒂茶碗 銘 青柿他 計3件
- ・岡山県立博物館 (1名:平成27年3月18日)……………古備前耳付花生 計1件
- ・上海博物館 (3名:平成27年3月19日)……………端溪紫石蘭亭硯他 計8件
- ・サントリー美術館 (1名:平成27年3月26日)……………雪松図他 計2件

10. 博物館実習生の受け入れ

下記の通り、博物館法施行規則第1条で定める学芸員資格取得のための学生の博物館実習を当館の基準の下に受け入れ、その指導を行った(団体研修2大学111名、実習生4大学5名)。

- ・期日＝平成26年5月10日・5月17日・9月27日
実習生＝立教大学博物館実習生(団体研修)……………計72名
- ・期日＝平成26年6月21日・6月28日
実習生＝東京学芸大学博物館実習生(団体研修)……………計63名
- ・期日＝平成26年9月11日・9月12日
実習生＝慶應大学博物館実習生(団体研修)……………計39名
- ・期間＝平成26年11月5日(水)～11月18日(火) 計12日間
実習生＝駒沢大学 文学部 歴史学科……………1名
学習院大学 文学部 哲学科……………1名
学習院大学大学院 人文科学研究科……………1名
大東文化大学 文学部 書道学科……………1名
お茶の水女子大学 文教育学部 人文科学科……………1名

11. 美術品の保存・補修

- (1) 蔵品のうちから、特に傷みの著しかった「重要美術品 為家本三十六歌仙絵 大中臣能宣像」については、修理先・修理方法に慎重な検討を加えた上で、本体の修理を行った。平成26年度は、本修理に999,000円費やされた。
- (2) 作品に付属する貴重な17、18世紀の更紗包裂(風呂敷)など計10件を修理した。
- (3) 刀剣保存のため傷みの生じた白鞘の調査を行い、修理方針を検討した。

12. その他の協力事業および会議等への派遣

- (1) 美術資料収集評価委員会へ学芸員を派遣(東京国立博物館 1 回)。
- (2) 美術資料買取協議会へ派遣(九州国立博物館 2 回)。
- (3) 文化庁の依頼により、登録美術品調査研究協力者会議へ学芸員を派遣(平成 26 年 11 月 17 日)。
- (4) 円覚寺の依頼により「宝物風入れ」の展示・撤去に学芸員を派遣(平成 26 年 10 月 31 日、11 月 3 日)。
- (5) 東京学芸大学の依頼により、学芸員を博物館学および同実習の非常勤講師として派遣。
- (6) 東京藝術大学の依頼により、学芸員を博物館実習および集中講義の講師として派遣。
- (7) 清泉女子大学の依頼により、学芸員を工芸史の非常勤講師として派遣。
- (8) 公益社団法人京都染織文化協会の依頼により、学芸員を講師として派遣(平成 26 年 10 月 8 日)。
- (9) 大徳寺孤篷庵の依頼により江雲会茶会を担当、茶道具の貸出と学芸員を派遣(平成 26 年 11 月 10 日)。
- (10) 九州国立博物館の依頼により、学芸員を科学研究費助成事業(No.24401020)における調査・セミナー・会議へ派遣・協力(平成 26 年 11 月 21-27 日、平成 27 年 2 月 25・26 日)。
- (11) 静嘉堂文庫美術館の依頼により、学芸員を染織作品調査に派遣(平成 26 年 12 月 17 日、19 日、平成 27 年 1 月 23 日、2 月 2 日、28 日)。
- (12) 一般財団法人筆の里振興事業団の理事会に出席(平成 26 年 5 月 22 日、平成 27 年 3 月 18 日)、また特別展展示指導に学芸員を派遣(平成 26 年 9 月 15・16 日、19 日、10 月 13・14 日、11 月 4 日)。
- (13) 公益財団法人高梨学術奨励基金の評議員会に出席(平成 26 年 6 月 11 日)。
- (14) 公益財団法人大師会の報告会(平成 26 年 4 月 4 日)および評議員会(平成 26 年 6 月 20 日)に出席。
- (15) 一般社団法人書芸文化院の理事会(平成 26 年 5 月 25 日)、および総会(平成 27 年 3 月 8 日)に出席。
- (16) 公益財団法人徳川ミュージアムの依頼により、文化財修復助成事業選定委員会(平成 26 年 5 月 28 日)、「開校・彰考館」プロジェクト調査活用事業専門委員会(平成 26 年 7 月 18 日)、徳川ミュージアムプロジェクト会議(平成 26 年 9 月 3 日)に出席。

- (17) 一般財団法人イセ文化財団の理事会に出席(平成 26 年 9 月 30 日)。
- (18) 公益財団法人日本書芸院主催「伝統と創意」第 68 回展「書道展のつくり方」シンポジウムに参加(平成 26 年 4 月 15 日)。
- (19) 日本博物館協会の依頼により、「美術品取梱包輸送技能取得士認定制度に関する委員会」(平成 26 年 4 月 17 日、12 月 18 日)、「博物館登録制度の在り方に関する調査研究委員会」(平成 26 年 7 月 15 日、8 月 21 日、10 月 29 日)、『博物館研究』編集委員会(平成 27 年 1 月 26 日)に参加。
- (20) 公益財団法人せたがや文化財団理事会への参加(2 回)。
- (21) 公益財団法人 とうきゅう留学生奨学財団主催「茶道体験」に協力(平成 26 年 7 月 30 日)。
- (22) タイ国芸術局の依頼により在日本タイ国文化財調査を受け入れ(平成 26 年 6 月 28 日)。
- (23) 第 61 回日本伝統工芸展(全国 12 都市にて開催:会期 平成 26 年 9 月～平成 27 年 3 月)奨励賞に協賛。
- (24) 世田谷区のセント・メリーズ・インターナショナル・スクール学園祭に協賛。
- (25) 文京区の東洋大学白山祭に協賛。
- (26) 世田谷区の日本大学文理学部 2014NU 祭第 22 回桜麗祭に協賛。

13. 学会・研究会

- (1) 茶の湯文化学会を別館講堂にて開催し、研究成果を発表(平成 26 年 5 月 24 日)。
- (2) 漆工史学会を別館講堂にて開催し、研究成果を発表(平成 26 年 11 月 1 日)。
- (3) 東洋陶磁学会研究会を集会室にて開催(平成 26 年 10 月 4 日)。
- (4) 美術史学会、東洋陶磁学会、漆工史学会、茶の湯文化学会、書学書道史学会、全国博物館学会、全国美術館会議、全国博物館館長会議、私立美術館会議(以上大会出席)
- (5) 日本貿易陶磁研究会研究集会、茶書研究会、日本書道史研究会、墨蹟研究会、画賛研究会に参加。

[2] 大東急記念文庫事業

1. 図書保存

- (1) 収蔵庫内の参考書誌、図書資料等と和古書との分離収納作業を行った。
- (2) 所蔵資料の保存状態を調査し、修理・補修リストに記載した。
- (3) 庫内に適度の防虫剤を施した。また防塵、除湿、防災には万全を期した。

2. 図書収集

- (1) 閲覧参考資料
「人物叢書」等を継続購入中である。
- (2) 出版文化史参考資料
「先哲書影」(萩野由之編、大正10年、西東書房)を購入した。
- (3) 古典籍参考資料
夏目漱石自筆原稿『門』4枚を購入した。

3. 図書調査

京都瑞光寺の資料調査を行なった。

4. 図書閲覧

(1) 個人閲覧

		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館日数			22	23	21	27	5	25	23	26	15	23	20	25	255日
閲覧者数			10	9	6	10	4	11	13	10	9	6	7	8	103人
閲覧 図書	国書		30	12	10	12	3	42	21	34	7	9	10	12	202点
	漢籍		1	0	0	4	0	3	6	3	0	0	0	4	21点
	仏書		1	4	0	5	2	0	3	11	18	0	23	0	67点
	その他		3	2	5	4	0	1	3	0	0	1	0	0	19点
計			35	18	15	25	5	46	33	48	25	10	33	16	309点

(2) 団体閲覧

- ・4月 延慶本平家物語研究会(1点/於閲覧室).....6名
- ・7月 慶應義塾大学・駒澤大学・上智大学ほか学部生及び院生(46点/於集会室).....17名
- ・9月 昭和女子大学図書館(3点/於別館講堂・閲覧室).....8名

- ・2月 書誌学用語研究会(4点/於集会室).....5名
- ・3月 書誌学用語研究会(18点/於閲覧室).....5名

5. 出版物の編集・刊行・頒布・委託出版(主なもの)

(1) 頒布

- ・機関誌「かがみ」第45号
- ・『典籍逍遙—大東急記念文庫の名品』
- ・公開講座講演録

(2) 委託販売

- ・大東急記念文庫善本叢刊中古・中世篇(汲古書院)継続刊行中。
平成26年度は、第26回配本「伊呂波字類抄5」を刊行。
- ・大東急記念文庫善本叢刊近世篇(全18巻別巻1巻)(汲古書院)
- ・大東急記念文庫所蔵『芥子園画伝』初集・二集・三集(勉誠出版)
- ・マイクロフィルム版「江戸文学総瞰」「物語文学総瞰」(雄松堂書店)

6. 普及

(1) 出版物受贈(主なもの)

- ・『東京市史稿 産業篇 第五十五』1冊(東京都公文書館)
- ・『國學院大學所蔵古典籍解題 中世散文文学篇』1冊(國學院大学)
- ・日本古写経善本叢刊『続高僧伝卷四・卷六』ほか各1冊(国際仏教学大学院大学)

(2) 図書資料撮影、掲載、出版、翻印等許可

- ・各種団体
大津市歴史博物館、国立歴史民俗博物館、北九州市立文学館、姫路文学館、松山市立子規記念館、三重県、八王子市、柏市等
- ・出版社
NHKエデュケーショナル、岩波書店、小学館、中央公論美術出版、平凡社、勉誠出版、臨川書店等
- ・個人
研究者等10名

7. 展示

(1) 他所への貸出

- ・東京国立博物館.....「秘宗隠語集」/計1点
「榮西と建仁寺」展(期間=平成26年3月25日~5月18日)
- ・根津美術館.....重要文化財「無学祖元墨蹟 開長楽和尚嗣法書上堂語」/計1点
「名画を切り、名器を継ぐ」展(期間=平成26年9月20日~11月3日)

(2) 五島美術館への出陳

- [館蔵] 春の優品展—歌・物語の世界—
……………「宗祇像」・「白描下絵梵字陀羅尼經断簡」・「正岡子規書簡」ほか／計 11 点
- [館蔵] 祈りの造形展
……………重要文化財「光明真言土沙勸信記」・重要文化財「白描四天王図像」ほか／計 20 点
- [館蔵] 秋の優品展—絵画・書跡と陶芸—
……………重要文化財「画図讃文」・「夏目漱石筆『門』原稿」ほか／計 11 点
- [館蔵] 茶道具取合せ展
……………「茶室起絵図」／計 1 点

8. 国等各種公共機関・団体への協力と職員の派遣

- 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国文学研究資料館の調査員として、会議に出席、国文学関係資料の調査に協力した。
- 国文学研究資料館における「歴史的典籍に関する大型プロジェクト」の共同研究「日本古典籍の書誌概念と書誌用語の国際化」の研究分担者として調査、研究発表を行なった。

貸借対照表

平成27年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	151,178,926	149,567,921	1,611,005
未収金	2,418,883	5,030,133	△ 2,611,250
前払金	2,351,886	2,906,846	△ 554,960
棚卸資産	21,071,831	20,451,575	620,256
有価証券	7,764,596	8,116,024	△ 351,428
仮払金	1,000	0	1,000
流動資産合計	184,787,122	186,072,499	△ 1,285,377
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	1,139,685,568	1,139,685,568	0
建物	1,527,172,891	1,592,674,185	△ 65,501,294
立木	1,000,000	1,000,000	0
美術品	1,134,631,000	1,134,221,000	410,000
古典籍	133,245,570	131,705,570	1,540,000
什器備品	4,508,002	5,096,006	△ 588,004
投資有価証券	728,359,057	728,359,057	0
基本財産合計	4,668,602,088	4,732,741,386	△ 64,139,298
(2) 特定資産			
積立預金	57,000,000	41,000,000	16,000,000
特定資産合計	57,000,000	41,000,000	16,000,000
(3) その他固定資産			
美術品	194,549,325	194,538,325	11,000
什器備品	8,847,068	9,818,436	△ 971,368
その他固定資産合計	203,396,393	204,356,761	△ 960,368
固定資産合計	4,928,998,481	4,978,098,147	△ 49,099,666
資産合計	5,113,785,603	5,164,170,646	△ 50,385,043
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	13,030,867	14,227,945	△ 1,197,078
前受金	6,775,000	6,525,000	250,000
預り金	1,745,581	1,709,700	35,881
流動負債合計	21,551,448	22,462,645	△ 911,197
2. 固定負債			
退職給付引当金	13,775,047	12,915,126	859,921
固定負債合計	13,775,047	12,915,126	859,921
負債合計	35,326,495	35,377,771	△ 51,276
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	3,992,735,029	4,040,286,323	△ 47,551,294
(うち基本財産への充当額)	(3,935,735,029)	(3,999,286,323)	(△ 63,551,294)
(うち特定資産への充当額)	(57,000,000)	(41,000,000)	(16,000,000)
2. 一般正味財産	1,085,724,079	1,088,506,552	△ 2,782,473
(うち基本財産への充当額)	(732,867,059)	(733,455,063)	(△ 588,004)
正味財産合計	5,078,459,108	5,128,792,875	△ 50,333,767
負債及び正味財産合計	5,113,785,603	5,164,170,646	△ 50,385,043

財産目録

平成27年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金 預金	手元保管 普通預金 みずほ上野毛① みずほ上野毛② みずほ上野毛③ 三菱東京UFJ玉川① 定期預金 三菱東京UFJ②定期	運転資金として	2,199,736 87,139,950 81,349,448 1,256,437 3,862,345 671,720 61,839,240
	未収金 前払金 棚卸資産 有価証券 仮払金		以上、運転資金として 売掛金 次年度展覧会準備費用・保険料 図録・ショップ商品 基本財産運用に伴う不足資金分	61,839,240 2,418,883 2,351,886 21,071,831 7,764,596 1,000
流動資産合計				184,787,122
(固定資産)				
基本財産				
	土地	世田谷区上野毛3-9-25		4,668,602,088
	土地(指定)	19903.86平米	公益目的保有財産であり、公的 事業及び管理運営の用に供して いる。	1,139,685,568
	建物			1,527,172,891
	建物(指定)	本館・別館・茶室2棟・陶芸 教室	公益目的保有財産であり、公的 事業及び管理運営の用に供して いる。	1,527,172,891
	立木			1,000,000
	立木(指定)		公益目的保有財産であり、公的 事業の用に供している。	1,000,000
	美術品			1,134,631,000
	美術品(指定)	美術工芸品 2,617件	公益目的保有財産であり、公的 事業の用に供している。	1,134,631,000
	古典籍			133,245,570
	古典籍(指定)	古典籍 21,837冊	公益目的保有財産であり、公的 事業の用に供している。	133,245,570
	什器備品			4,508,002
	什器備品(一般)	展示用備品・収蔵棚	公益目的保有財産であり、公的 事業及び管理運営の用に供して いる。	4,508,002
	投資有価証券			728,359,057
	投資有価証券(一 般)	国債・地方債・社債・株式	公益目的保有財産であり運用益を公 益目的事業の財源としている。	728,359,057
特定資産			0	
	積立預金			57,000,000
	積立預金(指定)	三菱東京UFJ・みずほ銀行	公的 目的事業及び管理運営のための 資産である。	57,000,000
その他固定資産				203,396,393
	美術品		公益目的保有財産であり、公的 事業の用に供している。	194,549,325
	什器備品		公益目的保有財産であり、公的 事業及び管理運営の用に供して いる。	8,847,068
固定資産合計				4,928,998,481
資産合計				5,113,785,603
(流動負債)				
	未払金 前受金 預り金		業者への支払 次年度茶の友会会費 社会保険料	13,030,867 6,775,000 1,745,581
流動負債合計				21,551,448
(固定負債)				
	退職給付引当金		公的 目的事業及び管理運営に従事す る職員の退職給付引当金	13,775,047
固定負債合計				13,775,047
負債合計				35,326,495
正味財産				5,078,459,108

予算対比正味財産増減計算書

平成26年 4月 1日から平成27年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[10,956,000]	[10,638,150]	[317,850]
公益事業収益	[148,679,000]	[132,510,588]	[16,168,412]
受取寄付金	[145,208,000]	[180,737,338]	[△ 35,529,338]
雑収	[70,000]	[160,277]	[△ 90,277]
経常収益計	304,913,000	324,046,353	△ 19,133,353
(2) 経常費用			
事業費	[315,064,000]	[297,493,361]	[17,570,639]
管理費	[26,393,000]	[27,570,421]	[△ 1,177,421]
経常費用計	341,457,000	325,063,782	16,393,218
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 36,544,000	△ 1,017,429	△ 35,526,571
損益評価等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 36,544,000	△ 1,017,429	△ 35,526,571
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
指定正味財産へ振替	[0]	[1,765,044]	[△ 1,765,044]
経常外費用計	0	1,765,044	△ 1,765,044
当期経常外増減額	0	△ 1,765,044	1,765,044
当期一般正味財産増減額	△ 36,544,000	△ 2,782,473	△ 33,761,527
一般正味財産期首残高	1,088,506,552	1,088,506,552	0
一般正味財産期末残高	1,051,962,552	1,085,724,079	△ 33,761,527
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	[0]	[17,410,000]	[△ 17,410,000]
一般正味財産からの振替額	[0]	[1,765,044]	[△ 1,765,044]
一般正味財産への振替額	[△ 65,208,000]	[△ 66,726,338]	[1,518,338]
当期指定正味財産増減額	△ 65,208,000	△ 47,551,294	△ 17,656,706
指定正味財産期首残高	4,040,286,323	4,040,286,323	0
指定正味財産期末残高	3,975,078,323	3,992,735,029	△ 17,656,706
III 正味財産期末残高	5,027,040,875	5,078,459,108	△ 51,418,233

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券等の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券…償却原価法(定額法)によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
棚卸資産の評価は、移動平均法に基づく原価法によっている。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
建物、什器備品は定額法により減価償却を行っている。
- (4) 引当金の計上基準
従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。
なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等は、税込方式により会計処理を行っている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(基本財産)				
土地	1,139,685,568			1,139,685,568
建物	1,592,674,185	1,225,044	66,726,338	1,527,172,891
立木	1,000,000			1,000,000
美術品	1,134,221,000	410,000		1,134,631,000
古典籍	131,705,570	1,540,000		133,245,570
什器備品	5,096,006		588,004	4,508,002
投資有価証券	728,359,057	104,220,247	104,220,247	728,359,057
小計	4,732,741,386	107,395,291	171,534,589	4,668,602,088
(特定資産)				
積立預金	41,000,000	16,000,000		57,000,000
小計	41,000,000	16,000,000		57,000,000
合計	4,773,741,386	123,395,291	171,534,589	4,725,602,088

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
(基本財産)				
土地	1,139,685,568	1,139,685,568		
建物	1,527,172,891	1,527,172,891		
立木	1,000,000	1,000,000		
美術品	1,134,631,000	1,134,631,000		
古典籍	133,245,570	133,245,570		
什器備品	4,508,002		4,508,002	
投資有価証券	728,359,057		728,359,057	
小計	4,668,602,088	3,935,735,029	732,867,059	0
(特定資産)				
積立預金	57,000,000	57,000,000		
小計	57,000,000	57,000,000	0	0
合計	4,725,602,088	3,992,735,029	732,867,059	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	2,402,332,678	875,159,787	1,527,172,891
什器備品(基本財産)	42,126,653	37,618,651	4,508,002
什器備品(その他固定資産)	71,120,954	62,273,886	8,847,068
合計	2,515,580,285	975,052,324	1,540,527,961

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
有価証券	7,764,596	8,255,184	490,588
投資有価証券	728,359,057	991,620,914	263,261,857
合計	736,123,653	999,876,098	263,752,445

6. 引当金の増減額及びその残高

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	12,915,126	1,100,049	240,128	0	13,775,047

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	66,726,338
合計	66,726,338

附属明細書

基本財産の明細、特定資産の明細及び引当金の明細については財務諸表の注記に記載しているため、附属明細書への記載を省略する。

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。